

Happy New Year!!

Meishu Hitachi Times

Written by 3-3Hirano,
2-10Usui, 1-4Komukai

No.8 Since 2020

5th February, 2021.

Kaminecho3-2-26 Hitachi City Ibaraki Japan

☎0294-21-6328



- 7月：夏に関すること
- 8月：お祭り
- 9月：十五夜
- 10月：ハロウィン
- 11月：展示なし
- 12月：クリスマス
- 1月：お正月
- 2月：バレンタインや節分
- 3月：ひな祭り
- 4月：桜 入学式
- 5月：こいのぼり
- 6月：梅雨 あじさい

あるが、実際にはどんな食べ物が好きかを聞いてみた。美味しいものは奥さんの作る餃子で、お酒はビール(エビス)を一番に挙げた。餃子は手作りだと、具の大きさが調整できて、機械で細くなったものより美味しいそうだ。

さらに、食べ歩きも好きで、食べログ「ジョニー・デップ」で活躍中。日立のローカル紙などで情報収集をしてお店に行くとのことだった。出歩きが難しい現在では、バーベキュー、鍋にはまっている。キムチ鍋より作るこだわりだ。

ラジオ放送について話を聞くと、ゲストの皆さんのおかげで続けられているところもある。本当に楽しい、と話す。初めて話す生徒も多く、新しく面白い発見がある。先生方も、仕事では絶対に話さないようなことも話せる。普段は人に興味を持つようにと心掛けており、実は聞くのが苦手、聞くスキルを高めたいという思いもあるそうだ。



作る材料は図書館から借りている。今後は、季節のディスプレイのほかに、化石コレクターでもある小泉先生を中心に、実物大の恐竜のパネルや化石のレプリカも、展示したいと考えている。高校では地学にふれる機会は少ないため、そのきっかけ作りにもしたいそうだ。

ラジオをやっていると、いろいろな人がいて、その人の魅力や頑張りを紹介して、誰かの琴線に触れたらいいなと思っている。「おれもカニ好きです！」(小泉先生の回)などのコアなファンの発掘ができたらしい。万人受けよりコアファンを。そんなラジオを目指したい。

現在、youtubeで放送のアーカイブを配信しているが、今後はラジオで動画を流すか悩み中の様子。最近ではゲストにファンもできはじめた。放送後、ゲストの待ちをしている生徒もいる。

今後は校外にも出演者を増やしたい。街の人を校内で発言して、職業紹介やキャリア形成にも役立てたい。また、なにより多くの生徒に出演してほしい。

インタビューをしてみて感じたことは、スターやカリスマ性を持っている人よりもラジオらしくコアな、いわば多くの共感よりもごく個人的な経験をもっているほうが向いているということだった。らしく取り繕う必要はなく、そのままの自分でいいということにラジオの魅力を感じる。

(写真：記念すべき100回目は小野理事長)



(2年10組 白井)

DJBiGPaPA 1月29日に100回記念!

先日12月21日に90回を迎えたお屋の放送「Meishu Radio」。始まりは6月8日の第1回放送でゲストは水本先生だった。ほぼ毎日欠かさずことなく放送を行っているのがDJBiGPaPAである。今回は記念すべき第100回を目前に控えたDJBiGPaPAにインタビューを行った。

美味しいものとお酒が好きなのでお馴染みで



2021.1.29 第100回記念
小野 勝久 理事長

フェイスシールド越しの出迎え

年明けの1月18日に、中学生が受験する本校入学試験が行われた。推薦入試は9日に行なわれ、12日に合格が発表された。今年の受験は今までに例がなく、コロナ禍で受験生はたくさんの不安があるだろう。勉強をしていますが、「コロナ」というワードが頭の中に過ぎてきて集中を損ねてしまい、精神面で辛い日々を送ってきたのではないかとと思われる。

本校には約800人の受験生が集まるため、より一層対策をしないといけない。そこでアルコール消毒、こまめな換気の実施、試験会場へのアルコール消毒液の設置、咳エチケットや手洗いの励行の呼びかけなど可能な範囲で感染対策を徹底し、受験生が安心して受験できる環境を作っていくことが本校の役割となると思う。その一端を担っている一般入試を補助員として手伝った生徒に話を聞いた。

校外で受験生の誘導をしていた補助員から紹介する。

「受験生にはあまり緊張している様子は見られなかった。誘導中はずっと、マスク・フェイスシールド・手袋をしていたが、フェイスシールドは初めてだったため、違和感があった。」と話した。次に、教室内で試験の監督補助をしていた生徒にも話を聞いた。

「試験中は集中していて、緊張感が漂っていたが、休み時間になると中学生らしく元気な様子だった。」

試験は、午前中に英語・国語・数学の試験があり、お昼を挟んで、午後には社会・理科と5教科の試験が行われた。長丁場ではあったが、最後の理科の試験まで受験生は集中していた。

今年度、本校では入学試験の追

試験が行われる。新型コロナウイルス感染、接触者に対する特別措置として設けられた機会となる。

(1年4組 小向)

今年から「大学入学共通テスト」に変化

共通テストまで残り9日(1月7日時点)となった。受験生たちの緊張が高まってきたところだ。今年からセンター試験が廃止され、大学入学共通テストが始まる。大学入学共通テストには、大学入学共通テストの成績のみで決まる「単独型」の他に、大学入学共通テストと個別試験の両方が課される「併用型」がある。詳しくは下の図のようになっている。

残りテストまで近くなると何をやればいいのか分からなくなること

も多々ある。

共通テストとなり変化したことについてまとめてみると以下のようになる。



出典：大学入試センターHPより

1. 思考力が求められる問題の登場(確定) 共通テストではセンター試験よりも知識だけで解ける問題が減る。これまでよりも深い理解力・考察力が求められるようになっていく予定だ。

2. 発音・アクセント問題がなくなる(確定) 大学入試センターは

当初外部試験を導入することで話す・聞く・読む・書くの4技能について評価する姿勢を示してきたが、その外部試験の導入が見送られることとなった。

3. 国語：書類など実用文からの出題(予定) 試問問題によりより実用的な文章が出題される可能性が高くなっている。

受験生でもある特進Sコース生にインタビューを行った。

Q. 受験1週間前でのどのような勉強をしていますか?

A. 参考書や自分で解いた問題などを見直しています。

Q. 共通テストとしてどのような対策をしていますか?

A. 共通テスト対策問題集などを解いています。

とにかく問題を解き、復習を繰り返すことが、当たり前のようにだか結果を出すことの第一歩のようだ。

(3年3組 平野)

図書館の壁を見てみると・・・

ディスプレイを作っていたのは図書委員会のディスプレイ係と顧問の小泉先生だ。今年度は7月から制作をはじめている。



以下、ディスプレイの内容となる。2月以降は予定しているもの